

男性も仕事と家庭の両立を実現！



土田 徹さん

社会保険労務士法人HALZとの合併会社である「株式会社みらいアウトソーシングHALZ」のユニットリーダーを務める土田さん。実は**2児のパパで在宅ワーカー**なんです！

今回はユニットリーダーとして在宅勤務を続けながら、家庭やチームを支えている土田さんにお話を伺いました。家庭と仕事を両立させる工夫、日常の変化など**リアルな声**をお届けします。

Q1.
現在の業務内容と、在宅勤務を選んだきっかけは何ですか？

現在の業務内容は、お客様の給与計算や社会保険の手続きを担当しながら、ユニットリーダーとして**在宅スタッフへの指示やフォロー**を行っています。チーム全体を見渡し、円滑にチームで仕事を進めるのが私の役割です。在宅勤務を選んだのは、**家庭と仕事を両立するため**です。妻が保育士で在宅勤務ができないので、子どもが小学校に上がるタイミングで私が在宅勤務を選びました。

Q2.
在宅勤務を始める前に不安はありましたか？

在宅勤務を始める前は自分がいなくてもチームが円滑に仕事を進められるかという不安がありました。しかし実際に取り組んでみなければわからない部分も多かったため、チームや上司と何度も相談を重ねながら体制を整えました。新しい働き方のなかでも**チームをしっかりと支えられるよう、責任をもって準備に取り組みました。**



—ご家庭での様子—
今日の晩ご飯を支度中

Q3.
在宅勤務で一番の大きな変化は何ですか？

やはり通勤がなくなったことですね。**通勤時間がゼロ**になった分を家事に使えるようになりました。朝は朝食の片付けをしてから仕事を始め、夕方には仕事を終えて夕食の準備や子供の面倒を見ることができます。以前より**家族と一緒に過ごせる時間が格段に増えましたね。**

Q4.
在宅勤務を始めて感じたギャップや課題はありますか？

ギャップは2つあります。1つ目は**時間の使い方**です。通勤がなくなった分時間を有効に使えるようになりました。その一方で家事と仕事の切り替えを意識することが大切だと感じるようになりました。

2つ目は**コミュニケーションの取り方**です。オンライン中心のため目的を持ったやり取りが増え、より効率的に情報共有ができるようになりました。今後はオンライン上でも出社勤務と同じような日常会話を意識的に取り入れたいです。



お母さんの誕生日に
お父さんと一緒に
ケーキを作っています！

Q5.
在宅勤務と出社勤務のそれぞれの良さは何か？

在宅勤務は**時間を有効に使える**ことが魅力です。昼休みを過ごしながらか家事をすること、そして仕事中は自分一人の環境なので集中しやすいということです。

一方出社勤務では**対面のコミュニケーションがスムーズ**に行えます。どちらにもメリットがあるので今は良いバランスが取れていると思います。

Q6.
仕事の効率化やオン・オフの工夫はありますか？

残業できない分、日中に集中して仕事を終わらせる意識が強くなりました。子供が帰宅するまでに業務を終わらせる必要があるため、**タスク管理はかなり精度が上がった**と思います。

ただし、オンとオフを厳密に分けるというより、状況に応じて柔軟に働くこともあります。家事の合間にオンライン会議の内容を確認したり、出先の空き時間を活用して業務を進めたりと、**時間を上手に組み合わせる**ことで効率が上がることもあります。

ユニットメンバーもママさんが多いので共感できることが増えました。リアルでとっていたやり取りをオンラインに置き換える意識を持てば特に困ることはありません。**Google**カレンダーで予定を共有し、**集中作業の時間を伝える**などの工夫をしています。時短勤務のメンバーに合わせて自分のスケジュールを組み、午前中は指示やフォロー、午後は自分のタスクに集中するようにしています。

Q7.
ユニットメンバーとの意思疎通で工夫していることはありますか？

Q8.
在宅勤務に対するご家族の反応はいかがですか？

妻は「**助かる**」と喜んでくれています。子どもの体調が悪くなったときにすぐ迎えに行けるのは大きいですね。少しだけ仕事を抜けて子どもの面倒を見ながら仕事を進められるのも在宅勤務ならではの良さだと思います。**家庭の安心感**があることで、仕事にもより集中できるようになりました。

Q9.
家事の分担や在宅勤務での家庭との関わりについて教えてください。

料理の担当が自分になりました。最初は片付けしかしていなかったのですが、やってみると**料理の面白さに目覚めました**。思い通りの味付けができると嬉しいですし、家にある材料をChatGPTに聞けばレシピを教えてくれるので私にとっては料理の先生です。子供たちのお気に入りにはコーンバターです（笑）。

在宅勤務を通じて家事や育児に参加する時間が増え、家庭との関わり方は大きく変わりました。両立は決して楽ではありませんが、**自分や家庭にあった働き方ができている**と実感しています。



土田さんの自信作の夕飯

今日の献立

ご飯

コンソメスープ

ホタテのバター醤油焼き

シーフードの塩炒め

ブロッコリーと鶏ささみの

胡麻マヨネーズ和え



Q10.
今後のキャリアや働き方の展望についてお聞かせください。

子どもが成長したら**より集中して働ける体制に戻りたい**と考えています。今後は自分のチームを社内最大規模に育て、よりクオリティの高い、顧客提案などの仕事にも挑戦したいです。また**チーム作りのノウハウを社内に共有**し、他の社員のサポートもしていきたいですね。

編集後記

インタビューを受けてくださった土田さん、本当にありがとうございました。

在宅勤務という働き方を、家庭との両立やチーム運営の工夫を通して前向きに実践する土田さんの姿が印象的でした。状況に応じた柔軟な働き方や、リーダーとして責任を果たす姿勢には多くの学びがあります。コーンバターの話にも人柄がにじみ、在宅勤務の温かいリアルを感じました。働き方の選択肢が広がる今、こうした実践が会社全体の新しい魅力につながっていくと感じます。

また、在宅でもチームを支え、家庭を大切にする姿勢は「自分らしく働く」ことの一つの答えのように思いました。取材を通じて、働く場所よりも“どう関わるか”が大切だと気づかされました。今後もこうした実践の輪が広がり、誰もが自分に合った働き方を選べる会社であってほしいと感じます。

担当 小池乃愛